

日本地すべり学会 研究調査部 研究委員会 年次活動報告書(令和元年度)

報告者：佐藤 剛 (令和2年5月27日)

項目	内容
委員会名	地すべり地判読の先端的な技術伝承手法の開発委員会
委員名	代表 佐藤 剛 帝京平成大学 副代表 土志田正二 消防研究センター 顧問 檜垣 大介 前弘前大学・日本工営株式会社 顧問 八木 浩司 山形大学 顧問 山崎 孝成 国土防災技術株式会社 委員 遠藤 秀祐 東電設計株式会社 委員 橋尾 宣弘 株式会社エイト日本技術開発 委員 神原 規也 株式会社エイト日本技術開発 委員 木村 誇 愛媛大学 委員 宮澤 洋介 北陽建設株式会社 委員 斉藤 龍太 藤井基礎設計事務所 委員 佐藤 昌人 防災科学技術研究所 委員 関 悠花里 東電設計株式会社 委員 下河 敏彦 株式会社環境地質 委員 張 朝 国土防災技術株式会社

<p>本年度の主な活動</p>	<p>第1回委員会 (10月26日(土) 13:30~15:30 帝京平成大学中野キャンパス) 参加者：土志田・神原・檜垣・宮澤・斉藤・佐藤(剛) 佐藤(昌)・関・八木・張 委員会の目的について共有するとともに、活動としては航空レーザデータを用いた熟練技術者の判読方法を様々な手法で記録し、その判読方法のアルゴリズムを整理することにした。 また、現在試行されているアイトラッキング実験の内容についても紹介された。実際に被験者として実験に参加した檜垣先生・八木先生の判読動画を視聴し、2人からどのような手順で、地すべり地形を判読していったのかについても説明いただいた。今後は、地すべり判読を各委員に依頼し、その結果をもとに判読マニュアル作成を試みることにした。</p>  <p>写真：第1回委員会</p>
-----------------	---

次年度の活動予定	数回の対面での委員会を計画しているが、COVID-19の状況を鑑みながら実施する.
----------	---